

もりもり通信

vol.
51



山陰合同銀行の“森を守ろう”の取り組み

- 1 ごうぎんグループの役職員が実際に森林で汗をながし、森づくりに賛同する企業の輪を地域に広げる。
- 2 地方銀行の機能を活かした取り組みを川下(地方)から展開し、全国運動に広げる。





ごうぎん
希望の森

大山

植樹したクヌギ600本の 成長が楽しみです!

2022
10.15



当日は、秋晴れの汗ばむ陽気の中での活動となりました。
作業はクヌギ600本の植樹とツル切りです。夏に地拵えした植樹会場は、幹線道路沿いの元畑地で植えやすく、直線になるよう丁寧に苗を植えました。
森林教室では、脱炭素や森林資源の循環利用の現状や県内企業の紹介等分かり易く説明いただき、皆が理解を深めました。
今回は当行のSDGsの取組みを紹介する番組制作のため、BSS山陰放送の取材があり、レポーターと子ども達と一緒に作業する様子等が撮影されました。



活動概要(西伯郡伯耆町丸山 0.83ha)

【参加者】

役職員・家族 73名 / 行政・森林組合の皆さん 11名

【森林教室】

演題:「グリーン成長へ!~森林・林業白書から~」

講師:鳥取県西部総合事務所 農林業振興課
保木本課長補佐 様



新入行員体験談

米子支店

若原 桃花

秋晴れの気持ちの良い天候の中、今回は一本一本手作業で植樹を行いました。協力しながら丁寧に、山陰を豊かにしていきたいという思いを込めて植えたクヌギの成長がとても楽しみです。日常生活では味わえない自然からのパワーや、美しさを感じて自分自身の心と身体もリフレッシュすることができる貴重な時間となりました。本活動の魅力を微力ながら広めていけるようにこれからも参加していきたいと思えます。



ごうぎん
希望の森

旭

外部の方との協働ができ、 今後の活動の広がり期待!

2022
10.29



気持ちの良い晴天の中、植樹(クヌギ200本)と除伐の作業は順調に進み、予定より早く終了しました。
石央森林組合の皆さんには、丁寧に指導とともに森林教室ではクイズ形式で講話いただき、皆が森林に対する知識を深めることができました。
今回は新しい試みとして、当行の活動に賛同いただいた益田支店取引先の社会福祉法人梅寿会の6名が参加され、皆と一緒に汗をかいていただきました。
浜田市から旭温泉入浴券を配布いただき、汗を流し気持ちよく帰路につきました。



活動概要(浜田市旭町 4.57ha)

【参加者】

役職員・家族 58名 / 行政・森林組合等の皆さん 17名

【森林教室】

演題:「森林クイズ」

講師:石央森林組合 岡主任 様



新入行員体験談

浜田支店

福島 壮二郎

今回、初めて森林保全活動に参加し、改めて山陰の豊かな自然に触れ、有意義な時間を過ごすことができました。昨今、脱炭素化が叫ばれ、新しい技術を通して自然を守ることが求められています。しかし、汗をかき地道に森林を守るというこうした活動も非常に重要になってくるのではないかと感じました。次回もぜひ参加し、少しでも自然を守る活動に貢献していきたいと思えます。



2022
11.12

ごうぎん
希望の森 **三朝**

観光地三朝温泉の玄関口で 森林保全をPR!



会場が日陰で肌寒い中での作業となりましたが、下草刈りと遊歩道の整備、恒例の椎茸植菌に皆が丁寧に作業をすすめ、いつの間にか額に汗していました。森林教室は「森について」クイズ形式で行われ、子どもも分かり易い内容で楽しい時間となりました。終了後には、観光協会から施設利用割引パス・温泉の素を配布いただきました。国内外から多くの観光客が訪れる三朝温泉の玄関口での活動は森林保全の大切さを広くPRすることに繋がっています。



活動概要(東伯郡三朝町山田 2.0ha)

【参加者】

役職員・家族 49名 / 行政・森林組合の皆さん 9名

【森林教室】

演題:クイズ「森について」

講師:三朝町 農林課
松原課長補佐 様



新入行員体験談

倉吉支店

本庄 宏亮

天候にも恵まれ、無事に活動を終えることができました。私は春と同じく歩道整備をしましたが、へとへとになりながらも非常に楽しく作業ができました。最近ではSDGsへの取り組みが広がり、こうした取り組みは継続して行うことが大切だと思います。そのためにまずは楽しむことがカギだと思います。次回の活動でも、楽しく作業に取り組めたらと思います。今後も、仕事の面だけでなくこの森林保全活動を通して地域に貢献していきたいと思っています。



ごうぎん
希望の森 **三瓶**

広葉樹の成長と紅葉が 来年の楽しみに!

2022
11.19



素晴らしい景色の中、快晴で絶好の作業日和となりました。作業は、残す芽を選定する「芽かき」で、指導員から上期の同作業のおかげで全体の芽の成長が良く、成果が出ているとお褒めの言葉がありました。森林教室では、三瓶周辺が明治時代は大砲等の射撃演習場であったことを学習しました。当行CSR活動のSNS広報用撮影があり、ドローンが登場し撮影も楽しめました。紅葉の時期に1週間ほど遅れ、来年の紅葉時期での活動を楽しみに帰路につきました。



活動概要(大田市三瓶町 6.9ha)

【参加者】

役職員・家族 65名 / 行政・森林組合の皆さん 15名

【森林教室】

演題:「ちょっと昔の三瓶」

講師:大田市 森づくり推進課
森山課長 様



新入行員体験談

大田支店

坂根 佑奈

今回は二回目の参加でしたが、秋の三瓶を楽しみながら皆さんと活動ができ、とても貴重な体験となりました。私の三瓶の思い出として、小学生の頃、三瓶山に登りみんなでおにぎりを食べたことが良い思い出です。素晴らしい三瓶の自然の中で食べるおにぎりは格別なものでした。思い出深い三瓶の自然を守る活動に携わることができ本当に嬉しく思います。これからも地域の自然を守る活動に積極的に参加していきたいです。

NEWS
01

「森林づくり全国推進会議」 発足される!!

CHECK!

会員登録申請は
WEBサイトから ▶



2022年10月21日に、経済、地方自治体、観光など各界の企業・団体で構成され発足しました。
当会議の目的は、SDGsやカーボンニュートラルの実現に貢献する森林づくりを推進することで、
賛同する企業・団体が会員となり、具体的な森林づくりを展開します。
当会議の会員には、当行に加え「森林を守ろう!山陰ネットワーク会議」の会員からも複数団体が
登録されています。



発足式の記念写真（井上地域振興部長：前列右から2番目）

NEWS
02

第1回シンポジウムで当行の 森林保全活動を全国にアピール!!

CHECK!

シンポジウムの
動画視聴は
こちらから ▶



上記推進会議の第1回会議に併せ、先行する企業等の取組事例
やその意義・メリット等を発信するためにシンポジウムが開催
され、井上地域振興部長がパネリストとして登壇しました。
農林水産大臣や林野庁長官が臨席され、オンラインでも発信
される中、当行の森林保全活動や地元団体との連携状況の
紹介、企業活動への影響、広報活動等を発表しました。



パネリスト3名



発表資料

他のパネリスト

- アサヒグループジャパン(株)
- ビジョン(株)

(「森林×脱炭素チャレンジ2022」の受賞企業)

